

平成27年度（美術）授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・発想力はあるが、イメージしたものを描く技能や能力に個人差がある。 例；自分の思う色が作れない、色塗りがはみだしてしまう。 ・途中で諦めず仕上げの段階まで制作を深める必要がある。 ・作品について意図や工夫を言葉で表現する能力に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作中も生徒の状況に合わせてきめ細かく指導を行う。 ・生徒が実際に手を動かすワークシートや課題を増やし、技能を身につけさせる。 ・参考作品等を見せ、もう一段階仕上げたいける意欲を高める。 ・自分の作品や友達作品について発表させ、考えを深め、言葉の表現力を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品や参考作品を日常的に見せる。 ・完成作品は展示し、自然と意見が言い合える環境を作る。 ・作品と作者の考えを発表し、鑑賞する。 ・休み時間に制作段階の作品を並べて置き、生徒間で自然と意見が言い合える環境を作る。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻刀の扱い方や技能の定着に個人差がある。 例；やすりやニスの使い方、細かい箇所や曲線の彫り方など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作中も生徒の状況に合わせて個々にきめ細かく指導を行う。 ・導入を工夫し、技能を定着しやすくする。 ・道具の基本的な使い方が分かりやすいように実演をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品や参考作品を日常的に見せる。 ・完成作品は展示し、自然と意見が言い合える環境を作る。 ・作品と作者の考えを発表し、鑑賞する。
第三学年	<ul style="list-style-type: none"> 課題からテーマを考え、発想し、具体的に構想する能力に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に対話を通して発想を広げる手立てや資料を提示する。 ・作品制作中も生徒の状況に合わせて個々にきめ細かく指導を行う。 ・導入を工夫し、制作方法を理解させ表現力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品や参考作品を日常的に見せる。 ・完成作品は展示し、自然と意見が言い合える環境を作る。 ・作品と作者の考えを発表し、鑑賞する。